

# 福岡和白病院で下肢静脈外来を受診された患者様へ

当院心臓血管外科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を経て、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	下肢静脈外来受診患者の工コー所見による併発相の後ろ向き観察研究
当院の研究責任者(所属)	心臓血管外科 手島英一
本研究の目的	下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の出現により日本国内で施行される下肢静脈瘤の手術件数は急増しています。それに伴い下肢静脈工コーの施行数も同様に増加していることが予測される。しかし下肢静脈瘤外来を受診する患者の全てが下肢静脈瘤に罹患しているわけではなく、症状解決のための窓口として下肢静脈瘤外来を受診することもある。そのため血管外科医は静脈瘤以外も鑑別疾患に挙げ患者に方針を提示することが責務になります。
調査データ該当期間	2010年1月1日～2021年9月30日
研究方法	●調査の対象となる患者様 上記期間に当院心臓血管外科及び循環器内科を受診され、下肢静脈機能不全と診断された患者で工コーを施行した患者様 <電子カルテに記載のある診療情報> 研究対象者について、下記の臨床情報を診療録より取得する。 1. ①臨床所見(年齢、性別、病歴に関する情報、CEAP分類による病期) 2. ②下肢静脈瘤治療における治療歴(術式)、治療経過 3. ③検査所見(下肢超音波検査、下肢造影検査)
個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。 国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表(学会や論文等)に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は資金を必要としない。なお、本研究を実施するにあたり、研究の結果及びその解釈に影響を及ぼすような利益相反関係にある企業等はあ

	りません。
お問い合わせ先	福岡和白病院 心臓血管外科 電話：092-608-0001 ( 代表 ) 研究責任者：手島英一